

各 位



平成 19年 5月 15日

会 社 名 日本出版貿易株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長
綾森 豊彦
JASDAQ コード番号 8072
問合せ先 執行役員
事業管理部本部長
天内 健一
TEL (03) 3292 - 3751

業績予想との差異に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18年 11月 15日の中間決算発表時に公表した連結業績予想及び平成19年4月25日に公表した個別業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成19年3月期個別通期業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	9,587	△57	△61
今回修正予想(B)	9,586	△80	△75
増減額(B-A)	△1	△23	△14
増減率	-	-	-
前期(平成18年 3月期)実績	9,286	27	66

2. 平成19年3月期連結通期業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	9,780	51	48
今回修正予想(B)	9,862	△49	△49
増減額(B-A)	82	△100	△97
増減率	0.8	-	-
前期(平成18年 3月期)実績	9,543	37	63

3. 理 由

個別における売上高につきましては、ほぼ予想どおりとなりましたが、利益面におきましては売掛金について個別に回収可能性を検討し、新たに貸倒引当金1千5百万円を販売管理費として計上したことと、一部在庫商品について評価減8百万円を計上した結果、経常利益はマイナス8千万円、当期純利益はマイナス7千5百万円を計上する見込みです。

連結における業績は、その大部分が個別の業績に連動しております。売上高におきましては、イギリスの子会社が予想を下回りましたが、個別の業績が堅調であったことに加え、アメリカの子会社が販売している日本語学習書、一般雑貨が好調に推移し、フランスの子会社についても堅調であった結果、微増となる見込みです。利益面につきましては海外大学図書館への輸出、和書の輸出、音楽ソフトの輸出及び海外子会社の業績が好調に推移したものの、音楽ソフトの輸入国内販売において大型ヒット商品が少なかったことに加え、音楽配信、ネット販売の影響での売上減、および利益率低下、さらに洋書の国内販売における物流業務をアウトソーシングした経費増加により、経常利益、当期純利益ともにマイナス4千9百万を計上する見込みです。

以 上